

宇部高専図書館長

高橋 正和さん



【たかはし・まさかず】1952年、大分杵築生まれの61歳。山口大文理学部（現人文学部）から九州大大学院修了。78年宇部高専講師に。専門は西洋哲学で、中でもドイツ現代思想。宇部市海南町在住。

新1年生へまず「図書館は小宇宙、読書は生きる力」とメッセージを送る。

図書館利用を広めて学生に本に興味を持ってもらい、卒業研究の資料や教員の研究支援のための書籍をそろえるなど大きな役目だ。

蔵書は約14万冊で、全

学校生活の拠点目指す

国の高専では最多級。「年間開館日数は330日、年間1人10冊・1万冊」をスローガンに最多1万4000冊を記録した年も。これもトップクラスの貸し出しで推移している。土・日曜も含めて年

な仕事の一つです」。図書館の購入予算も他高専を圧倒して多い。利用実績が

物語る。

5年前から一般開放。

年中ほぼ無休で平日なら午後8時までの開館が高

ひと

専図書館の売りだ。市民50人に毎年500冊近くを貸し出し、購入図書也希望も聞く。市立図書館で人気の本を借りる場合、かなりの順番を待つときでも、意外と早いんです」とPRする。

学生を対象にした読書感想文コンクールは伝統を引き継ぎ37回目を迎え、今春も入選作品集を作成。レベルの高い文集だと外部から評価されている。

学生や教員の本へのアクセスを紹介する「図書だより」も充実している。図書館関係者の言を借りれば「高橋先生は学生の言葉をすくい上げるのがうまい」

「仁は「学校生活の拠点を目指す。学生も市民も足を運んでほしい」と呼び掛ける。（永寛）